

2015 くすのき

**VOL.26**

# 樟 樹

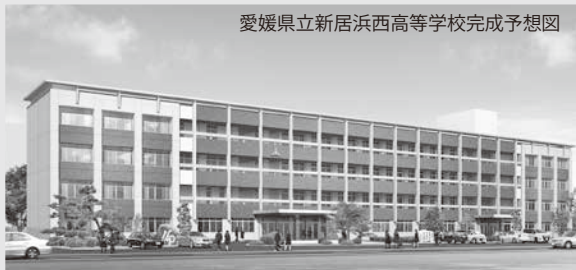
樟樹会 新居浜西島尋学校同窓会

# 校内こんなところ(こと)ご存知ですか?

● 第13回 ●

## 新校舎へ向けての第一歩

左は、平成27年3月30日、解体大型重機が慣れ親しんだ校舎を一撃した写真です。1年後には耐震の新校舎が完成の予定です。



## 西高 なう

本館の新築に伴い、現在在校生はプレハブ教室で授業を受けています。また、

本年度より以前家庭科があった校舎が新居浜特別支援学校川西分校となり、2つの学校が1つの敷地内にあるという状況になっています。

現在の西高の様子を一部ご紹介します。

3階建てのプレハブ校舎が体育館の南側に建てられ、新校舎ができる



まで主に2・3年生がこのプレハブ校舎で授業を受けています。1つのフロアに1学年7クラスが横並びに入り、その向かい側に食物教室、美術教室等が入っています。そのため東西に長い校舎となっています。

以前プールがあったところに新しく駐輪場ができました。約560台の自転車を収容することができます。水泳の授業があったところが懐かしく思い出されます。



なお、今年度より愛媛県内の県立高校では自転車通学生にヘルメットの着用が義務付けられました。都道府県レベルでの義務付けは全国初だそうです。

# 創立100周年へ始動

## 会長あいさつ



樟樹会会長  
畑田 雅敏  
(昭和44年卒)

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。誌面ではございますが平素の疎遠をお詫びし、厚く御礼申し上げます。

本年3月下旬から本館の解体が始まりました。建てられてから50年、多くの人々の学びや巣立ちを見守った本館は耐震性に問題があり、本年度中に建て替えられることになっております。職員室および教室は体育館南側に仮設された3階建てのプレハブ校舎に移動し、新年度からはそこで授業が行われております。

さて、本校は大正6年5月3日、新居浜町立実科女学校として開校されて以来、変遷を経て、平成29年には記念すべき創立100周年を迎えます。本年度からそれに向けての活動が始動いたします。同窓会では既に2回ほど100周年に向けての打ち合わせ会を行っておりますが、正式な

期成会の立ち上げは間近に迫っております。

昨年赴任された100周年準備室長の鈴木一宏（昭和58普）先生の計画では、本年度中に教職員、同窓会、PTAからなる期成会を立ち上げ、まずどんな事業をするのかを検討し煮詰めます。それが決まれば記念事業予算を決め、募金活動計画に移ります。募金活動は平成28年9月から平成29年8月くらいの1年間の予定です。100周年の記念式典は、平成29年秋頃に挙行される予定となります。

私たちの大切な母校西高が西高らしい100周年を迎えられるよう教職員、卒業生、在校生、PTA、同窓会、全てのメンバーで思いを込めて取組み、心に残る100周年記念行事・事業・式典を成し遂げようではありませんか。皆様のご支援ご協力を伏してお願ひ申し上げます。

同窓会活動は、会誌「樟樹」または西高同窓会ホームページでその都度お知らせいたしております。なんなりとご意見賜ればと思っております。

同窓生の皆さんには今後とも趣旨をご理解いただきまして、これまで以上のご協力とご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

## 50年目の卒業式

昭和40年3月卒業 太田 嘉一

平成27年3月1日、新居浜西高校50年目の卒業式にお招きを受け、昭和40年卒業の同期生35名で出席させていただきました。式典の厳肅な雰囲気と厳しい寒さの体育館で緊張したときを過ごしました。現卒業生の凛々しき、逞しさ、美しさに触れ、私たちの50年前に思いをはせました。彼ら、彼女たちの未来の幸せを祈るばかりです。

その後、ユアーズに場所をかえて同期生での食事を開催しました。私たちは、よく同期会を行います。それを期待している同級生がいる限り、2年に1度くらいは同期会を開催したいと話しています。



# 生

にわたり活躍されている

するコーナーです

# 介

## Profile

平成8年 新居浜西高等学校普通科 卒業  
平成13年 東京都立大学法学部 卒業  
平成15年 『A HAPPY LUCKY MAN』で作家デビュー  
日本推理作家協会会員



福田 栄一

ふくだ えいいち

## 選んだのは 作家への道

私が初めて小説の単行本を上梓したのは、平成15年8月、26歳のときでした。現在では作家の若年化も進み、10代で受賞して華々しい活躍を見せる方も珍しくはありませんが、それでもまだ比較的若いうちでのデビューだったかと思えます。以来12年、ヒット作とはまるで無縁ながらも、何とか10数冊の小説を世に送り出してきました。

若いうちにデビューしたとはいっても、ずっと昔から作家を志していた、というわけではありません。幼い頃から読書が大好きで、西高時代もろくに勉強もせず本を読み漁ってはいましたが、自分で小説を書くという経験はほとんどなかったのです。

私が筆1本での生活に憧れ、その道を目指すようになったのは、大学3年になってからでした。私は大学進学で東京してから、調布市にある東予学舎という学生寮ですとお世話になっていたので、そこでは毎年学生から原稿を集めて文集を作成していました。その文集へ寄稿するため、生まれて初めて長編小説を書いてみたところ、何と原稿用紙で600枚近くの分量とまってしまったのです。もちろん、そんな大量の原稿を文集に載せてもらえるはずもなく、あえなく没となってしまいます。しかし、せっかくなので書き上げた小説をただ引き出しの奥へ仕舞い込んでしまうのに忍びなく、懸賞雑誌を買ってきて、手頃な小説新人賞に応



募してみることにしました。そして、半年ほど経って出版社から届いた封筒には、何と私の作品が最終選考に残ったという信じられない朗報が記されていたのです。

結局、その最終選考では、残念ながら私の作品が受賞することはなかったのですが、この結果は私を有頂天にさせてしまいました。初めての作品で最終選考まで届くくらいなのだから、その気になれば簡単に作家になれるはずだ、と思い込んだのです。そのせいで、私は就職活動には目もくれず、ひたすら小説を書き続けることになりました。もちろん、世の中はそう甘くはなく、その後同じ新人賞へ2度応募しましたが、三度落ち、最終落ち、という結果で、受賞には届きませんでした。執筆に専念するため、更に大学を卒業した後もバイト生活をしな

がら小説を書き続けてきましたが、その頃には、どうも自分は道を踏み外してしまっただんじやなかるうか、という疑念が折りに触れて頭に浮かんできたものです。そうやっていくと、きちんと就職した大学時代の仲間たちと比べ、将来の見込みもなく小説を書き続けている自分に強い不安と焦りを抱き、なかなか寝付けない夜も増えてきました。

最終的に、私は作家を志してから6年目にして、どうにか思いを遂げることができました。最後まで新人賞には縁がなかったものの、当時の担当編集者の肝煎りで、東予学舎で過ごした学生時代の経験をベースにした小説『A HAPPY LUCKY MAN』でデビューを果たせたのです。

以来、私は望みどおりに筆1本での生活が続いているわけですが、作家というのはむしろなつてからのの方が大変だという言葉が身に染みております。それでも、今日は昨日よりも、明日は今日よりも良い作品を書く、という心意気で、これからも日々精進していきたいと思っています。

### 編集委員会より

#### テレビドラマ化決定！

『エンド・クレジットに最適な夏』が10月より、日本テレビ木曜23：59～枠で『青春探偵ハルヤ(仮)』(主演：玉森裕太)としてドラマ化

#### 著作のご紹介

『夏色ジャンクション』実業之日本社  
『春の駒 鷺澤家四季』東京創元社  
『探偵の流儀』光文社 など  
また、本年6月17日に最新刊  
『森笠邸事件 探偵の流儀2』光文社が、発売されました。

# 同窓

文化面、産業界など各界  
同窓生をご紹介します

## 紹介

### 本当に豊かな生活のために、 私たちができること

27年前、自宅のリビングにFaxとワープロを準備し、『アトリエ・ハッピーオーガスト』を立ち上げました。いわゆる在宅ワークの走りです。時代はバブル期。女性目線のマンション企画やキッチン商品開発などの依頼を受けました。そして、下の娘が小学校に上がったとき、Macのパソコンとスキナーを購入し、鬼に金棒！と思った記憶があります。リビングが一気に事務所のようにになりました。私自身の仕事の歴史と成長した娘らの姿を重ね合わせると、感慨深いものがあります。

女性が社会の中で責任のある仕事に取り組むつつ、家族との生活も大切に過ごすことのできる社会は素敵だと思いませんか？お母さんになっても、お婆ちゃんになっても、それまでに培ってきたスキルを生かして世の中と繋がり、貢献できることを私は目指しています。

現在は、スタッフ全員がお母さんという会社を経営しています。企業理念の1つは『リ・ジョブ』。昔取った杵柄を生かし、再仕事することです。私の昔とった杵柄は、住宅の設計、それらを生かして建築書類の電子化やまちづくりワークショップ、商品開発、地域活性化の具体的なプラン作りなどの仕事をしております。

ところで萩ガラスってご存知ですか？江戸時代、日本には「三大切子」と呼ばれる硝子がありました。江戸切子、薩摩切子、

そして萩切子です。江戸時代末期に、萩切子は姿を消してしまいました。その萩のガラスが20年前によりみがえりました。そして、復刻させた工房の販路拡大の業務を委託しています。ガラスが石からできていたということ、その石に含まれる鉱物の成分で色が生成されるということ、そんなガラスの魅力を伝える企画です。萩ガラスは、きれいな緑色をしています。たとえば新居浜の別子銅山の石からはどんな色が生まれるのでしょうか。夢が広がります。

世界の台所、築地市場。毎朝、世界最大のマグロの競りが行われ、それを見学するために多くの外国人が列をなしています。『Tsukiji Tuna Auction』は世界中の人々の賞賛の的です。私たちは、5時半からの競り見学に午前2時から並ぶディープな外国人観光客に対して、『築地あさげツアー』を企画、運営しています。日本のあさげ（朝ごはん）を一緒に作り、一緒にいただくプログラムです。「一番だし」の話や日本特有の「めいめい使いの食器」の話など、日本の食文化のあれこれを築90年の日本家庭で体験していただく時間過ごしイベントです。

『工房ヒットシル』というイベントも開催しています。日本の技術力の高さは世界有数です。途絶えさせてはならない日本の技を守るために我々ができることは何だと思えますか？それは、生活者である私たち



が日常生活の中で大切に使い続けることで、使うから職人が消えない、職人が仕事を出来るから工房が守られるのです。工房で職人の技を見て、体験させていただき、語りあかす時間過ごしです。

今まで紹介したこれらの企画は、毎日を実践したいという思いから生まれています。「お母さん、今日楽しかった？」という子供の問いかけに

「うん。お家のことも仕事も楽しかったよ。」と笑って答えられること、それが、子供たちが大人になることに夢を持ち、希望を持って生きていける一番の励みだと思っています。自身と家族と社会のために、今自分が出来ることを続けています。

### Profile

- 昭和52年 新居浜西高等学校普通科 卒業
- 昭和56年 共立女子大学  
家政学部生活美術学科住居専攻 卒業
- 昭和62年 アトリエ・ハッピーオーガスト 立ち上げ
- 平成14年 有限会社HA2 設立
- 平成25年 株式会社Opus 設立



## 森本 八月喜

もりもと やつき

# の歩み

## 県大会出場への軌跡

男子  
バスケットボール部主将 岡部 颯



僕たち男子バスケットボール部が新チームになって練習を始めたのは、他校のバスケットボール部、西高のほとんどの部活が県大会に向けてギアチェンジする4月末だった。

僕たちは、県大会に行けずとても悔しい思いをした。だから、新チームになるにあたって、『バスケットを楽しむこと』『自分たちで考えてプレーすること』そしてその先にあるはずの『県大会に行くこと』という目標を立てた。

とても高い意識で練習をし続け迎えた、ウィンターカップ予選、結果は、完敗だった。やっぱりまだまだだったと気づかされた。しかし、僕たちは前向きだった。もつとこうしたら良かった、ああすべきだったというのをすぐに、練習に取り入れる。これがこのチームの良さだと思う。

そんな感じで迎えた、2度目のチャンス、新人戦、結果は、3点差で県大会を逃した。バスケットボールにおいて、5点差以内は、ベンチワークの違いだと言われる。つまり、どれだけチームが同じ目標に向かっていけるかだ。ベンチのプレーヤーとのギャップを埋めることが一番の課題であった。

そして、ラストチャンスの総体東予地区予選1回戦を1点差で勝ち、代表決定戦に勝ってついに目標を達成できた。今までバスケットをしてきて最高の瞬間の1つになった。

た。そしてなにより、1回戦の1点差を勝ち切るチーム力がついていたことが、自分としてはとても嬉しかった。

### 大会結果(東予地区予選)

ウィンターカップ

1回戦

新居浜西 86-56 小松

2回戦 60-86 西条

新人戦

1回戦

新居浜西 70-57 伯方

2回戦 61-64 今治工業

総体

1回戦

新居浜西 63-62 弓削商船

2回戦 45-81 新居浜高専

代表決定戦 85-75 東予

ついに、6年振りの県大会に出場できることになった。6年振りと聞いて、今までのチームは弱かったんだねと考えるとほしくない。なぜなら、バスケットの予選は出たら県大会という甘いものではないからだ。僕たちはこれまでの先輩方や、生徒の自主性を重んじ、生徒が主役の部活動をやらせてくれた、顧問の吉村先生・副顧問の内山先生、青野先生をはじめとする先生方、保

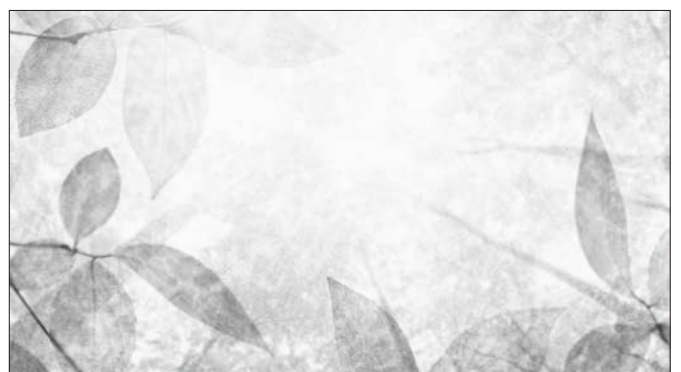
護者の方々、友達、そしてマネージャーさんたちといった応援し、支えてくれた方たちに、感謝して、精一杯県大会でバスケットを楽しんできた。

最後に、チームのみんなに

1、2年生・目指せ2年連続県大会で感じて頑張れ。

3年生・怪我也多いし、声も通らないし：頼りないキャプテンでごめんなさい。

ただ、自分がバスケットを続けられたのは、バスケットが好きだからだけじゃなく、みんながいたからだと思う。ホントにありがとう。



# 部活動



## 『瞬間をキリトル。』

写真部部長 高橋 彩紀

みなさんは魅力的な1枚の写真に心を動かされたことがありますか。私は、その魅力に引き込まれた1人です。

私はもともと写真を撮ることが好きで写真部に入学しました。写真部に入学するまでは、コンパクトデジタルカメラでしか写真を撮ったことがありませんでした。しかし写真部に入学し、先輩の一眼レフで初めて写真を撮らせてもらった時、私が今まで使っていたカメラとは違ったシャッター音の質感、ズーム領域の広さ、画質の美しさに衝撃を受けました。

今、スマートフォンなどの普及によって誰でも簡単に写真を撮ることのできる時代になっていますが、私は一眼レフの持つ魅力にどんどん引きつけられていきました。一眼レフの魅力は、状況に応じてレンズを替えることができる、狙ったところにピントを合わせることができる、背景のボケ具合を意図的に操作できるなどですが、私自身、一眼レフを使って写真を撮るようになり、確実に作品の幅が広がりました。

そして、私にとつての写真部の魅力は、好きな時に好きな場面を個人的に撮ることができるといふ点と、みんなで協力して1つの作品を作り上げていく際に、個人撮影とは違った楽しみがある点です。体育大会や高文祭などといった個人で写真を撮り、作品を作ることが

多い中で、私が2年生の時には3人1組で1つの作品を作り上げる「全国高等学校写真選手権大会(写真甲子園)」に挑戦しました。これは写真部における団体戦です。

写真甲子園では、初めてのことが多くあり、作品を作るのにかなり苦労しました。その作品は、8枚の組写真で、テーマを決めて撮影に臨んでも、撮っていくうちにテーマから逸れて行き詰まったり、8枚のセレクトに何十種類もの場面を撮ったりと、みんなの意見を取り入れながら、方向性を出していくのが大変でした。作品は私達が学んできた写真の技術を盛り込み、工夫を凝らすことで、最後にはみんなが納得のいく作品を作ることができました。

写真甲子園の結果は、四国ブロック決勝審査進出まででしたが、テーマを決めることからみんなまで考え協力し、顧問の先生にもアドバイスをお願いしながら1つの作品を作り上げたことで、大きな達成感や感動を得ることができました。

また、いつも顧問の先生がおっしゃっている、「写真は枚数を重ねることの上達していく」という言葉を実感し、自分の写真技術の進歩を感じることが

できました。

そして写真部で過ごしたこの3年間、県総体や体育大会などの写真をみんなに届けることができたことはたいへん大きな喜びでした。また、講習会や合宿で他校の写真部員との交流を通じて、写真の技術、さらには写真に対する考え方も学ぶことができました。顧問の先生や他の先生方にも協力いただき、とても充実した部活動を行うことができましたことに感謝しています。これからは私達が学んだことを後輩達に伝え、後輩達がより良い作品を多く作っていつてくれることを心から願っています。

(7ページに関連記事掲載)



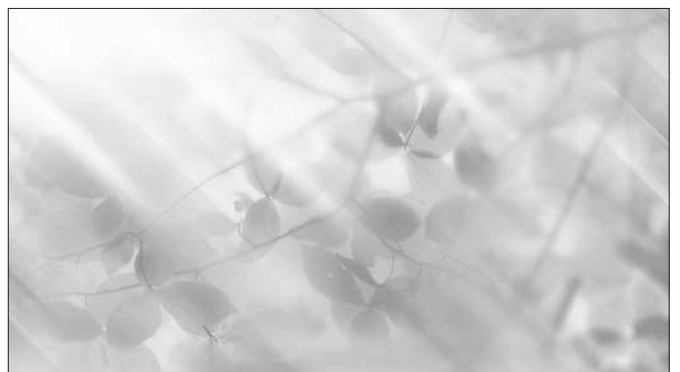
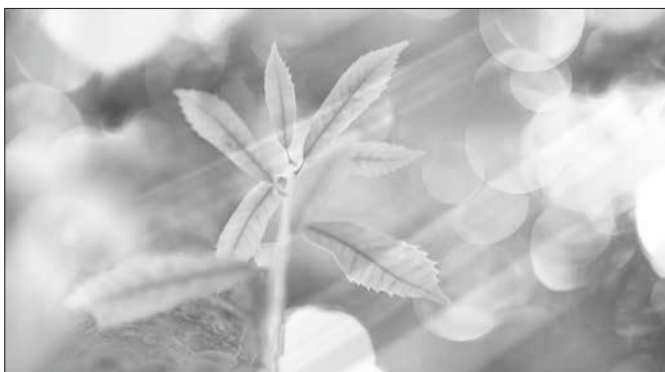
無邪気



17才



そして、歓喜



# 母校の概況

Nihama-Nishi High School

## 新しく生まれ変わる西高として



校長 佐々木 靖夫

樟樹会の皆様には母校に対して、変わらぬ御支援・御支持をいただいていることを厚く御礼申し上げます。

私は、今年2年目の勤務となり、改めて昨年度とは違う視点で本校の良さ・特徴を見直しています。今年度の本校の大きな事業として、本館の新築工事があげられます。北側の道に面した建物（本館）は、4月から、巨大な重機が解体を始め、5月上旬に解体が完了しました。新しい校舎は来年度4月に完成することになっています。さすがに本館が崩され始めた時には、自



本館の解体工事（正門前から撮影）

分の体を傷つけられているかのよう  
な心の痛みを感じました。しかし、  
自分が学生時代に学んだ母校の建  
物が壊れていく姿を見ながら、そ  
の最後の姿を見届けることができ  
たという巡り合わせに感謝したい  
と思っています。そして、これから  
本校のさらなる発展のために精いつ  
ぱいの努力をして行きたいという決  
意を新たにしました。皆様には、こ  
れからも御協力をよろしくお願い  
いたします。また、西門の側にあつ

た第二教棟は、新居浜特別支援学  
校川西分校（肢体不自由児）として、  
この4月に改築・開校され、同じ敷  
地内で2つの学校の運営が進めら  
れています。

さて、本校の生徒数は、本年度、  
全日制80名、定時制78名の計879名  
となっております。少子化のため、全  
日制は、各学年すべて7クラスとな  
り、体育祭も昨年度から3つのグ  
ループで行っています。これより先  
新居浜市の人口がたとえ減少して  
いっても、定員数を減らされないよ  
うに、近隣の中学校へしっかりと働き  
掛けていきたいと考えています。ま  
た、定時制については、東予地区  
にある県立学校は、川之江・西条・  
今治西と本校の4校のみになりま  
した。そんな中、単位制の定時制  
高校として、本年度の入学人数は  
県下でも最も多く、ますます存在  
感を増しているところです。

は、国公立大学合格者数が171名、  
現役生のみでは149名。国公立大学  
合格率は現役の全日制卒業生の55・  
8%に当たり、過去8年間では最  
高の値となりました。また、京都  
大1名、大阪大1名、名古屋大1  
名など難関大学への合格者数はや  
や減少して10名ではありましたが、  
十分な成果を上げられたのではな  
いかと思っています。また、地元の  
愛媛大へも、医学部医学科の3名  
を含め、計31名が合格しました。  
昨年度に引き続き本年度の重点努  
力目標にも掲げている「魅力ある  
進学校を目指して」という大きな  
目標に向けてさらなる発展を続け  
ていきたいと考えています。

部活動においては、この4月に行  
われた東予地区大会を勝ち抜いて、  
県大会への参加生徒数は、210名と  
なりました。昨年度の175名と比べ  
て大きく増加し、マニフェストに掲  
げた数値目標を十分に達成するこ  
とができました。この後の県総体で  
も本校らしい戦いをし、四国大会、  
全国大会（インターハイ）へ出場者  
が数多く出ることを強く期待して  
おります。

また、5月9日（土）に行われた  
PTA総会では、授業参観において、  
教室の中へ入りきれないくらい多く  
の保護者に御参観いただきました。  
各御家庭の熱い意欲的な気持ち  
がヒシヒシと伝わってまいりました。  
また、総会では、53・1%の保護  
者の参加を得て、熱心な討議が行  
われたことをここに報告いたします。

最後に、本校は現在開校98年目  
を迎えています。2年後には、100  
周年記念行事を行うことになってい  
ます。今後も、畑田会長をはじめ、  
樟樹会の皆様方には、母校の発展  
のためになお一層の厚い御支援・御  
協力を賜りますようお願い申し  
上げ、御挨拶いたします。



## 教職員の異動

### 《転入》

教頭	大西 俊一	(川江)
教頭	藤澤 一仁	(松西中等)
教頭	松浦ヨリ子	(県教委)
国語	河野 靖典	(宇水)
国語	大内 孝夫	(宇和)
国語	佐伯 康英	(今西)
地公	石川 和生	(川江)
地公	青野 善和	(川江)
理科	菊川 大祐	(大農)
理科	前川 晃久	(三島)
理科	奥田 真司	(西農)
理科	工藤 清	(新南)
英語	武智 優子	(新特)
英語	酒井 美穂	(今西)
事務	伊藤 江里	(今西)
事務	亀尾 千春	(今西)

### 《転出》

校長昇任	渡邊 洋人	(県立図書館)
教頭	願成寺 優	(伊予)
教頭	佐々木利夫	(退職)
教頭昇任	十亀 英樹	(川江)
国語	岡本 一孝	(土居)
国語	榎垣 知美	(今東中等)
地公	永井 紀之	(西条)
数学	松浦 仁昭	(今西)
英語	福田 克典	(県教委)
英語	成田 一美	(退職)
事務	山下 哲	(西条)

## 同窓の教職員

(氏名)	(卒業年)	(教科等)
津村 和芳	昭和46	国語
(再任用)		
塩崎 勇人	昭和46	地公
(再任用)		
佐々木靖夫	昭和50	校長

## (氏名) (卒業年) (教科等)

大西 俊一	昭和53	教頭
亀尾 千春	昭和53	事務
渡辺 一生	昭和56	数学
吉田 明正	昭和56	理科
武智 優子	昭和56	英語
鈴木 一宏	昭和58	保体
日野 右子	昭和59	英語
塩崎 美都	昭和63	国語
藤澤 真美	昭和63	英語
松本恵理子	平成5	英語
片岡 大介	平成9	地公
小池 佳子	平成9	理科
倉久美子	平成11	数学
吉村 新平	平成15	事務
加藤 恵理	平成15	事務

## 大学合格一覧

最近3カ年の総合合格者と、大学別合格者の一部を紹介

	25年	26年	27年
国公立大	143	169	171
私立大	411	435	399
北海道大	0	0	2
東北大	0	3	0
東京大	3	1	0
名古屋大	1	0	1
京都大	1	2	1
大阪大	5	3	1
神戸大	3	6	3
岡山大	16	18	19
広島大	6	8	8
愛媛大	33	39	31
九州大	7	5	2

5ページ関連 愛媛新聞 2015.06.22 転載：編集委員会

# 今年も四国ブロックへ

## 写真甲子園本戦 愛媛勢出場逃す

松山で四国審査会

高校生3人組のチームで写真の腕前を競う「写真甲子園2015」(同実行委主催)の四国ブロック公開審査会が21日、松山市のホテルであった。新居浜西や愛光など計5校が熱戦を繰り広げ、香川県立坂出商が代表校に選ばれた。

写真甲子園は1994年から続くフォトコンテスト。22回目の今回は514校(県内6校のうち90校が初戦審査会を突破し、全国11ブロックの公開審査会で選ばれた代表18校が北海道を舞台にした本戦(8月4〜7日)に進出する。

四国ブロックでは新居浜西が「頂を目指して」をテーマに同校の書道パフォーマンスをモノクロで披露。アップやぶれの技法を巧みに生かした。愛光は「響(ひびき)」と題し、遍路が祈る姿や、線香から立ち込める煙などを写し込んだ。審査員からは7〜8枚

から構成された組み写真に対し「躍動感が出ている」「写真から読経の音が聞こえそうだ」などの講評があった。



新居浜西写真部2年の加藤萌部長(16)は「全力を尽くしたので後悔はない。1年生や書道部に感謝したい」、愛光写真部1年の池田鈴香部長(15)は「初めての組み写真は難しかったけど、みんなと議論しながら取り組めたのが楽しかった」と振り返った。(高田未来)

組み写真の作品を披露する新居浜西高(左3人)と愛光高のメンバー(21日午後、松山市大手町1丁目)

## 年間行事予定

月	日	行 事
4	8	全日制入学式・1学期始業式・定時制入学式
5	9	PTA 総会
	19	1学期中間考査(〜22日)
6	5	県高校総合体育大会(〜6月8日松山市周辺)
	17	西高祭
	29	1学期期末考査(〜7月2日)
7	17	1学期終業式
8	26	2学期始業式
9	6	定時制・通信制県総合体育大会
	8	運動会
	29	2年生2学期中間考査(〜10月2日)
10	4	2年生修学旅行(〜8日)
	6	1・3年生2学期中間考査(〜9日)
11	14	定時制運動会
	20	県高校総合文化祭(〜22日松山市周辺)
12	1	2学期期末考査(〜12月7日)
	18	2学期終業式
1	8	3学期始業式
	16	大学入試センター試験(〜17日)
2	25	学年末考査(〜3月3日)
3	1	全日制卒業式・定時制卒業式
	18	3学期終業式



# 平成27年度愛媛県高等学校総合体育大会 結果一覧

6月5日から6月8日（水泳は6月20日・21日）にかけて、愛媛県高等学校総合体育大会が松山市を中心に開催され、本校からも**210名**の生徒が参加し、各競技で活躍した。主な結果は下記の通り。

## ●陸上競技部男子

100m 岡田 陸・日野 友哉  
200m 越野 綾貴・岡田 陸  
400m 越野 綾貴  
800m 伊東 翔吾 6位  
四国総体出場

島田 達  
1500m 伊東 翔吾  
400mH 山下 瑠久  
3000msc 廣見 開成・斉賀 大和  
5000mW 東田 達直  
走幅跳 日野 友哉 1位  
四国総体出場

三段跳 日野 智仁  
円盤投 大倉 毅士  
やり投 辺見 慶介 6位  
四国総体出場

大倉 毅士  
400mR 河野・日野友・越野・岡田  
6位 四国総体出場  
1600mR 日野友・伊東・島田・越野  
5位 四国総体出場

## ●陸上競技部女子

100m 永江 祥子  
3000m 河村 礼菜  
100mH 大判 真穂  
400mH 大判 真穂  
走幅跳 佐伯 春香  
やり投 小野 真琴・伊藤 滯奈  
400mR 小野・伊藤・大判・永江  
1600mR 大判・永江・川路・岡部

## ●水泳部

100mバタフライ 宮崎 穂香 1分10秒36  
5位 四国総体出場  
八塚 祐希 予選敗退  
200mバタフライ 宮崎 穂香 2分36秒56  
5位 四国総体出場  
200m自由形 飯尾 悠貴人 予選敗退

## ●バスケットボール部男子

1回戦 新居浜西 38-99 松山中央

## ●バスケットボール部女子

1回戦 新居浜西 53-74 松山南

## ●バレーボール部男子

1回戦 新居浜西 0-2 松山工業

## ●バレーボール部女子

1回戦 新居浜西 2-1 宇和島東  
2回戦 新居浜西 0-2 帝京第五

## ●バドミントン部

男子  
団体1回戦 新居浜西0-3松山東  
女子  
団体2回戦 新居浜西3-1新居浜高専  
準々決勝 新居浜西2-3松山商  
(ベスト8)

個人シングルス  
1回戦  
友近 ひいろ 2-1 山内(松山北)  
近藤 百花 2-0 池内(松山北)  
2回戦  
友近 ひいろ 0-2 蓮沼(新田)  
(ベスト16)

近藤 百花 不戦勝 鈴木(新田)  
準々決勝  
近藤 百花 0-2 曾我部(新田)  
(ベスト8)

個人ダブルス 1回戦  
近藤・友近 0-2 伊野・奥野(新田)

## ●卓球部男子

団体 1回戦 新居浜西 2-3 今治南  
個人シングルス  
2回戦進出 高橋 諒多  
1回戦 小野 竣也  
個人ダブルス  
2回戦進出 久門 史明・高橋 諒多  
1回戦 寺岡 拓穂・浅野 紘輝

## ●卓球部女子

団体 1回戦 新居浜西 0-3 松山北  
個人シングルス  
1回戦 近藤 志帆

## ●ソフトテニス部男子

団体 1回戦 新居浜西 3-0 内子  
2回戦 新居浜西 1-2 伊予  
個人 3回戦進出 間崎 一成・多和 拓末  
(ベスト16) 四国総体出場

## ●ソフトテニス部女子

団体 1回戦 新居浜西 0-3 内子  
個人 1回戦 木村 有佳里・水野 由依子

## ●ハンドボール部

1回戦 新居浜西 9-37 松山北

## ●サッカー部

1回戦 新居浜西 0-2 松山北

## ●剣道部

男子個人 三宅 春輝 1回戦敗退  
男子団体 2回戦敗退  
女子個人 福山 あきの 1回戦敗退  
女子団体 準々決勝敗退(ベスト8)

## ●弓道部

男子団体 予選敗退

## ●ダンス部

「八岐大蛇」 12位

## ●テニス部

男子団体  
2回戦 新居浜西 2-1 今治明徳  
3回戦 新居浜西 2-1 三間  
4回戦 新居浜西 0-2 新田  
男子シングルス  
1回戦 山地 莞梧  
準決勝 坂田 裕笙  
(ベスト4) 四国総体出場

男子ダブルス  
2回戦 坂田・山地

女子団体  
2回戦 新居浜西 1-2 愛光

## ●新体操

ボール 8位 加藤 妙恵(11.85)  
クラブ 7位 加藤 妙恵(11.65)  
総合 6位 加藤 妙恵(23.50)

## ●少林寺拳法

女子自由单独演舞  
田中 沙耶加 2位  
全国大会・四国総体出場  
白木 菜々子 7位  
四国総体出場

# 文化部 大会結果

## ●放送部

第54回愛媛県高等学校放送コンテスト  
(第62回NHK杯全国高校放送コンテスト愛媛県予選)  
アナウンス部門 廣實 萌々花 優秀賞 全国大会出場  
朗読部門 河端 京之介 最優秀賞 全国大会出場  
石川 愛華 優良賞  
テレビドキュメント部門 「壁を壊す」石井 優里  
優秀賞 全国大会出場

テレビドラマ部門 「I」中居 優香 優良賞  
第39回全国高等学校総合文化祭放送部門 出場  
アナウンス部門 廣實 萌々花  
朗読部門 石川 愛華

## ●写真部

第39回全国高等学校総合文化祭写真部門 出場 鈴木 彩

## ●囲碁・将棋部

第39回全国高等学校総合文化祭囲碁部門愛媛県大会  
男子個人選抜戦 安藤 魁呂 3位 全国総文祭出場  
近藤 永遠 5位  
第39回全国高等学校総合文化祭将棋部門愛媛県大会  
男子団体(篠原 将希・星加 康太・高橋 宏輔)

2回戦 新居浜西 2-1 松山北  
準決勝 新居浜西 1-2 松山工業  
3位決定戦  
新居浜西 3-0 宇和島東 3位

男子個人 石川 弦治朗 ベスト16  
女子団体(近藤 飛鳥・豊田 光・加藤 志歩) 優勝  
全国総文祭出場

第39回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会愛媛県大会  
男子個人選抜戦 近藤 永遠 2位  
星加 康太 5位  
安藤 魁呂 9位

男子団体(安藤 魁呂・星加 康太・近藤 永遠)  
第1試合 新居浜西 3-0 松山商業  
第2試合 新居浜西 3-0 松山中央  
第3試合 新居浜西 2-1 松山東 優勝  
全国大会出場

女子団体(青山 楓・川井 葉月・伊藤 綾香)  
決勝 新居浜西 1-2 松山商業 2位

# 新居浜の動き

## 変わりゆく風景

〈進む新居浜駅前土地区画整理事業〉

永らく取り組まれてきた新居浜駅前土地区画整理事業が、完了いたしました。訪れる人々に、もてなしの心や新居浜らしい第一印象を与え、「憩い・集い・やすらぎ・にぎわい」の空間となることを目指した駅前広場（人の広場）が完成し、また、新居浜駅南側からの利便性向上を目的とした南口広場が整備されました。

さらには、駅前広場の北隣には、来街者のにぎわい拠点のため、民間施設を募集しましたが、東横インが事業者として採択され、平成29年春を目標に、14階建てのホテル（24室）が建設される予定です。

今回は、土地区画整理事業と合わせて整備が進められてきたあかがねミュージアム（新居浜市総合文化施設）についてご紹介します。



みんなで創り、育み、学ぶ場となるあかがねミュージアム  
(6月16日撮影：工事中)

### 「あかがねミュージアム」オープン

長年にわたる市民からの要望であった美術館建設ですが、美術文化の創造の場としてだけでなく、総合文化施設として、7月18日にオープンすることが決定しています。この施設は、太鼓祭りや産業遺産などの観光・学習の場など、それらが交流・連携することで、新しい新居浜を創造することが期待されています。

市内の各小・中学校、高等学校などの児童・生徒を対象に愛称を募集した結果、総数4,631通の中から「あかがねミュージアム」と決定しました。

あかがねミュージアムは、鉄骨鉄筋コンクリート造り、地下1階、地上3階建てで、延べ床面積8,841㎡の建物は、新居浜らしい銅板葺で外観が施工されました。

美術館は、2階に設けられ、優れた芸術作品に触れることのできる企画展示室や市民による芸術作品発表の場、ワークショップ等での発表の場として利用できる市民ギャラリーや常設展示室で構成されています。

1階には、新居浜が誇る文化・民俗・産業などが展示されます。太鼓台ミュージアムは、実際に市内の各地区で運行されてい

る太鼓台が順番に展示されます。太鼓台の実物展示に合わせ、特徴や写真やハッピ、のぼりなどを展示・紹介するとともに、映像などにより、その活動や太鼓祭りの歴史が紹介されます。

同じフロアにある360度シアターでは、360度のパノラマ映像と迫力のある音で太鼓祭りが体感できるとともに、太鼓台だけではなく、別子銅山や多喜浜塩田などの近代産業遺産や新居浜の自然地理や市民活動が紹介されます。

ほかに、別子銅山や多喜浜塩田の産業遺産に関する展示や情報提供、お手玉など新居浜に息づく多様な文化を紹介する「いはいまギャラリー」、子どもから高齢者まで、それぞれの世代に応じた創作活動の教室として利用できる「アート工房」があります。

また、地下には、約250席の多目的ホールがあり、優れた芸術に触れる場として、新居浜ゆかりの芸術家をはじめとした自主企画・興行のほか、市民の創作発表練習の場として活用できます。また、すべての客席が収納可能であり、舞台から客席までが段差のない平土間としても利用可能です。

7月18日のオープンに合わせ、様々なイベントも開催されます。18日には、地元太鼓台（庄内・松木坂井）によるかきくらべをはじめ、本校同窓の鴻上尚史氏のトークショー、高見知佳さんのよみかたり。19日には、鴻上尚史氏の作品上映・トーク、ライブ、ゆるキャラ競演。20日には、あかがね音楽祭が企画されています。

その後も、8月には本校同窓のランクヘッドが出演するあかがねロックフェスティバルのほか、本市出身者（福西崇史氏・石丸幹二氏・近藤勝也氏）が参加するイベントなど様々な催しが企画されています。

## えひめ国体の開催が決定しました

国民体育大会は、都道府県対抗で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典ですが、愛媛県で、2017年（平成29年）に第72回国民体育大会が開催されることが決定しました。

国体の開催は、昭和28年に四国4県合同で開催されて以来、64年ぶりとなり、また、愛媛県としては、初の単独開催となり、県内19の市町で、正式競技が37競技、公開競技が4競技、特別競技が1競技、デモンストレーションスポーツが23競技開催されます。

新居浜市では、ウエイトリフティング（全種別）が平成29年10月5日～9日、セーリング（全種別）が10月1日～4日、サッカー（少年男子）が10月1日～4日、軟式野球（成年男子）が10月6日～7日にかけて開催されるほか、デモンストレーションスポーツとして、カローリングとパウンドテニスの2競技が開催されます。

スローガンは、参加する全ての人々が、愛媛を駆け抜ける風のように舞い輝く大会となるよう、「君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え」を駆け 瀬戸に舞え」と併句仕立てとなっており、イメージソングは、全国166点の応募の中から選ばれた「えがおは君のためにある」を本市出身で、歌手・声優として、今や日本を代表するトップアーティストとして活躍中の水樹奈々さんが歌っています。



えがお  
愛顔つなぐえひめ国体  
第72回国民体育大会 君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え

# 本部だより

## 役目を終えた チャリティーバザーのたこ焼き

同窓会主催のチャリティーバザーは、「たこ焼きを焼いて、西高祭を盛り上げよう。」という前会長の一言から始まったのです。当時の西高祭といえば、生徒さんが食品を扱うクラスはほとんどなかった事もあり、たこ焼きや焼きそばは、飛ぶように売れ、行列が出来るほどの大盛況に。

合格祈願にと、一宮神社で祈祷していただいた「合格たこ焼き・焼きそばシール」の登場や、西高どら焼き等もメニューに加わって、充実したバザーになりました。

現在では生徒さんによる食品ブースも多数始まり、ますます賑やかな西高祭となっています。

平成13年から始まったたこ焼きバザーも、これで役目を終えられそうです。

この事業に関わっていただきました同窓会員、PTA他すべての方々のご協力に深く感謝申し上げます。



## 平成27年度 事業計画

月日	会 合 名	事 業 内 容
3月28日	樟樹編集委員会	「樟樹」26号 印刷所承認・概要相談
4月15日	会 計 監 査	平成26年度 会計帳簿類
4月20日	樟樹編集委員会	「樟樹」26号 原稿依頼先および担当者決定
5月9日	第1回常任理事会	平成26年度 事業報告 平成26年度 会計決算報告 平成26年度 会計監査報告 平成27年度 役員承認 平成27年度 事業計画案審議 平成27年度 予算案審議 平成27年度 総会・懇親会開催準備について その他
5月11日	樟樹編集委員会	原稿持寄り・ページ構成・レイアウト打合せ
5月13日	第1回理事会	第1回常任理事会と同内容
5月25日	第2回常任理事会	平成27年度 総会・懇親会開催準備について 総会の議事内容、運営方法、会員券の販売 招待者、チラシ、ポスター等 その他
5月25日	樟樹編集委員会	前回分校正・第2次原稿持寄り
5月28日	第2回理事会	第2回常任理事会と同内容
6月1日	樟樹編集委員会	校正
6月10日	樟樹編集委員会	最終校正
6月17日	西高祭支援	チャリティーバザー模擬店出店 西高どら焼き等販売
7月15日		「樟樹」26号 発行
8月1日	総会・懇親会	平成26年度 事業報告 平成26年度 会計決算報告 平成26年度 会計監査報告 平成27年度 役員承認 平成27年度 事業計画案審議 平成27年度 予算案審議 その他
1月下旬	第3回常任理事会	平成27年度の反省及び平成28年度の予定 同窓会入会記念品及び同窓会賞について その他
2月上旬	第3回理事会	第3回常任理事会と同内容
2月下旬	同窓会入会式	新会員へ入会記念品贈呈
3月上旬	同窓会賞授与	卒業式にて授与（全日制 定時制 若干名） 50年前（昭和41年）の卒業会員を招待
備 考	『東日本樟樹会』 『近畿くすのき会』 『松山樟樹会』	5月31日（日曜）総会開催 6月27日（土曜）総会開催 今年秋頃 総会開催予定

## 平成26年度 樟樹会一般会計収支決算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

	項 目	26年度予算額	26年度決算額	備 考
収 入 の 部	前年度繰越金	697,067	697,067	
	入会金（全日制）	2,623,500	2,583,900	783人（延べ人数）
	入会金（定時制）	108,900	99,000	10人
	雑 収 入	10,000	12,215	預金利息・貯金利子・会員名簿販売
	運 営 会 費	1,300,000	1,236,000	運営会費 202件（1口、3,000円から） 賛助会費 48件（1口、10,000円から）
	収入合計	4,739,467	4,628,182	
支 出 の 部	会 合 費	600,000	284,510	理事会・総会補助
	慶 弔 費	50,000	35,000	饗別・香典
	人 件 費	1,440,000	1,440,000	賃金
	事 務 費	50,000	64,052	
	事 務 機 器 費	142,020	100,332	
	事 業 費			
	同 窓 会 賞	15,000	15,000	全日制 2名 定時制 1名
	入 会 祝	574,000	280,627	全日制 269名 定時制 23名
	支 部 へ の 補 助 金	40,000	40,000	各支部総会 お祝い金
	旅 費	60,000	60,000	各支部総会 出席
	生 徒 へ の 補 助 金	500,000	410,000	四国・全国大会補助
	其 他 の 事 業 費	70,000	85,800	西高祭で生徒会を支援 高校野球広告料他
通 信 費	150,000	223,247	電話代 切手・葉書代	
雑 費・予 備 費	200,000	205,850	運営会費徴収に関する費用他	
次 年 度 繰 越 金	848,447	1,383,764		
	支出合計	4,739,467	4,628,182	

## 平成27年度

## 総会および懇親会のご案内

**日 時** 平成27年8月1日(土)  
**総 会** 17時30分開会  
**懇親会** 18時30分から  
**場 所** リーガロイヤルホテル新居浜  
 新居浜市前田町6-9  
 TEL 0897-37-1121

**チケット** 3,000円(一般会員)  
 1,500円(平成20年以降卒業会員)

当日も受け付けます。  
 ご要望に応じて、同期生・部活等の  
 テーブルをご用意します。

# 還暦を迎えて



## 樟樹会と長〜いお付き合い

加地 由照 (昭和49年卒業)

同級生から、定年や転身、一服宣言等の便りが届く年齢になりました。中学から高校受験を経て、晴れて新居浜西高生となったのが、つい先日の様にも思えます。

修学旅行や運動会、文化祭や全校登山等の思い出もたくさんありますが、自分自身が西高と関わっている年月は、卒業してからの方が当然長くなっており

ます。まず大学に入学すると新居浜西高の会というものが有り、さっそくお誘いがありました。全学部を通してなので入学定員の多い工学部等の方が中心となっていました。

在籍した学部で西高出身者は、私ただ1人で、「愛媛県人会」でも男性は自分だけでした。そんな事もあり大学の西高の会では、「お前の学部は女性が多くて良いなあ」と羨ましそうに言われもしましたが、実際にはそうでもありません。それは大学を卒業し、就職した職場においても同様な環境だったので痛感しております。

私事ですが、子ども2人はともに西高を卒業後、親と同じ進路を歩み、私と妻、兄弟姉妹に子ども達の伴侶、さらに親類を含めて12人が同じ『薬剤師』という職業に就いています。大学卒業後は、地元新居浜に

戻り就職しました。その時に、恩師が私を訪ねてこられ、西高在籍時から卒業後も同期の連絡役をしてくれていた同級生が、都会の海外勤務もある企業に就職したそうで、以前からの友人である私を学年理事に推薦するとの事でした。これが、西高同窓会・樟樹会とのお付き合いの始まりでした。

学年理事を務めて41年が過ぎました。その間、節目節目の周年記念行事のたびに、皆様方にお願いやらいろいろとお手伝いさせていただいております。

2年後は西高創立100周年という事で、非常におめでたい事と受け止めております。毎年開催の、樟樹会総会および懇親会のご案内もさせて頂いておりますので、皆様方には是非ご参加くださいますようお願いいたします。

昭和49年卒業の同期会は、『小女郎会』と命名し、有志が始めたもので、オリンピックの年に開催する決まりでしたが、今回は還暦を記念して下記の通り今年開催されます。同期のみならず、是非ご参加ください。



### 昭和49年卒同期会“小女郎会”のご案内

日時：平成27年8月15日(土)  
午後6時受付 午後7時開会  
会費：8,000円  
場所：リーガロイヤルホテル新居浜  
幹事代表：秦 誠一 義村 由美

# 近畿くすのき会

## 東日本樟樹会

### 第7回東日本樟樹会総会・懇親会

東日本樟樹会の第7回総会と懇親会は、5月31日(日)東京都品川区西五反田の「ゆうぼうと 芭蕉の間」で開催されました。

出席者は、来賓として佐々木靖夫校長、畑田雅敏樟樹会会長、ゲストスピーカーとして平尾公彦様(39年卒業、理化学研究所 計算科学研究機構長)をお招きし、総勢48名でした。昭和31年卒業の方から、平成11年卒業の方まで幅広い年次の同窓生が出席しました。

総会では井上会長の開会挨拶の後、来賓の佐々木校長から祝辞及び母校の現況、続いて畑田樟樹会会長からは樟樹会の今後の活動についての報告がありました。

ゲストスピーカーの平尾様からは「『京』からポスト「京へ」をテーマに、スーパーコンピュータ「京」の現状と今後についてわかりやす

## 近畿くすのき会

### 第19回近畿くすのき会総会・懇親会

例年同時期に開催の近畿くすのき会総会は、昨年平成26年6月27日に大阪弁護士会館で開催され、近年まれな70名を超える方の参加がありました。今回から、現役世代の参加者増への新たな試みとして、各分野で活躍中の方や参加者有志の交流タイムが企画され、あちこちで新しい同窓の輪ができていました。

総会は、村上会長の挨拶、続いて畑田樟樹会会長、佐々木校長からの祝辞の後、議事に移り、25年度事業報告などの諸議案が審議され、承認されました。

第2部は、昭和49年卒の天津市赤十字病院副院長の土井隆一郎先生に「病気に関する耳寄りなお話―がん治療など」のテーマで講演をいただき、普段聞けない病気や病院に関する興味深いお話に、皆、熱心に耳を傾けました。

講演して頂きました。

目から鱗で聞き入っていました。懇親会では新居浜市に催され、懐かしい賞品(連絡船のうどん、パン豆、万長ラーメンなど)もあり、ふるさとの言葉が飛び交う中楽しい時間を過ごしました。

次回は来年6月5日(日)「アルカディア」市ヶ谷 私学会館で開催する予定です。

記 大澤 明文(昭和44年卒)

(要旨はHPに掲載)

続いている懇親会は、昭和52年卒の曾我さんによる「日本酒で乾杯」で始まり、終始、宮本潤子さんの軽快な司会で抽選会を中心に笑いの絶えない楽しい時間を過ごしました。次回は100人の出席を目指しています。



記 大澤 明文(昭和44年卒)

同期  
会  
俾  
り

第11回「34」会 総会

奥嶋 啓志(昭和35年卒)

平成26年10月16日、新居浜太鼓祭りにあわせてユアーズにおいて5年に1度の同期会総会が恩師関、崎野両先生ご出席のもと開催されました。

南は沖繩県、北は関東周辺の各県より女性32名、男性34名の66名が駆けつけ、5年ぶりの再会を楽しみました。

総会では次期役員を選出し、5年後の再会を楽しみに散会しました。翌日は久しぶりに太鼓台を見学し新居浜を楽しみ、次回の総会に出席すべく各自自祈念してました。

「次回総会まで生きられるだろうか?」「5年は長すぎる。」「総会を5年でなく短くすべきた」との意見が聞こえてきた総会でした。



昭和42年卒業生  
第6回同期会

会長 山内 仁(昭和42年卒)

平成26年10月15日に、村上孝一、寺岡政晴先生の御出席を賜り、同期生56名が、リョウコイナルホテル新居浜に集いました。

2年前の第5回目も、ほぼ同数の参加でした。今回が初参加の方も交え、久しぶりに懐かしい顔に会い、昔話に花を咲かせました。

その後、参加者の殆どが2次会に参加し、カラオケ等で盛り上がりました。前回にも紹介しましたが、この同期会とは別に、東京で毎年20〜30名の規模で同期会を開催しており、大阪では、たまゆら会が活動しております。

第7回は、平成28年秋祭り頃を、第8回は、平成29年に招待される50年目の卒業式の日を、第9回は、平成32年の東京オリピックの年を予定しております。昭和42年卒業の皆様、今から参加の準備をしていてください。



5年ぶりの  
「West 45会」同期会

高橋 信正(昭和45年卒)

「元気なうちにおうとこやー」幹事達の合言葉で、「しじゅうごきげんかい」が5年ぶりに開催されました。

寒波による交通機関の乱れで、遠方からの出席が心配されましたが、平成27年1月3日(土)は、新春の陽光の中、2月取り壊し予定の、北棟校舎見学会を行いました。懐かしい教室に入ると、白石幹事代表のショートコントならぬ即席授業が行なわれ、束の間であります。45年前にタイムスリップしたようでした。屋上にも行くことができ、白い雪をかぶった四国の山々、柔らかな新春の陽光でキラキラと輝く瀬戸内海を一望することのでき、大変感激しました。協力していただいた学校関係者の皆様に、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

校舎見学会を終え、レイイグラツツエふじにて、井手上先生、高橋先生をお迎えし、West 45会同期会



が開催されました。懐かしい顔を見つけては思い出話しに花を咲かせ、猪井さん、藤田君の司会進行でゲームが行なわれ、笑いに満ちあふれた2時間30分でした。今年から5年後と言え、東京オリピック、パラリンピックの年ですね。それまで、「みんな元気でいてくれるかなー!？」(いいともー!!)

4年目の宴、  
いつまでも...

世話人 藤田 明美(昭和51年卒)

昭和51年同期会はサッカーワールドカップ年の恒例行事です。今回は平成26年8月16日お盆の日にユアーズにおいて、恩師6名にご参加いただき、総勢68名で盛り上がりました。4年ぶりに再会した仲間達は高校生に戻り、昔話に花を咲かせ、クラス毎に語られたエピソードには特に大きな歓声や笑い声が沸き起こりました。次回は還暦の年、笑顔で再会を誓って楽しい宴は幕を閉じました。あゝ素晴らしき哉、西高の仲間達!



# 昭和54年卒、大同期会を

## 開催しました

山口 隆司(昭和54年卒)

4年前の夏、約30年ぶりに集まった同期の仲間たち。50を過ぎると昔が恋しくなるのでしょうか？また集まろうという声が大きくなり、恩師の続木先生、檜垣先生、高山先生をお迎えして69名の仲間が集合しました。



# 普通科昭和60年卒業

## 同期会

星加 啓子(昭和60年卒)

平成27年1月2日。卒業してちょうど30年、本館も建替となるこの年に同期会を開催しました。小さな集まりはあったものの、

学年全体での開催は初めてでした。小さな思いつきで始まったこの企画、2年の準備期間中に幹事仲間も増え、無事開催にこぎつけました。

果たして何人来てくれるのか不安でしたが、結局148名の大人数。担任8名の内、佐光先生、脇先生、桧垣先生、菅先生、恩師4名にも参加頂き、大盛会となりました。久々に会った仲間は一瞬にして当時ヘタイルムスリップ。話は尽きることなく、午後2時に始まった会の最終解散は午前4時半でした。今回を機にその後も関東や関西でも会が催されており、大変嬉しく思っています。



# 平成25年卒業生同期会

## 新成人の集い

幹事 近藤 佑紀(平成25年卒)

平成27年1月11日、私たち平成25年卒業生は成人式の後ユアーズに集い卒業後初の同期会を開催しました。集まった卒業生はおよそ200人。さらに恩師である石川美千子先生、菊池千幸先生、吉村新平先生が参加して下さい、思い出話に花を咲かせました。初めての学年での同期会でしたが、高校時代と変わらず盛り上がりつついる様子を見ると記憶に残る西高での出来事が色鮮やかにめくられていくように感じました。卒業して2年が経ち、それぞれの道を歩んでいても西高生として集まると高校時代に帰ることが出来る、そんな母校があることを誇りに思います。新しい西高の校舎が完成する頃には、もう1度同期会を開催して新校舎を皆で訪ねてみたいものです。



## 編集後記

□永良部島の新岳が噴火、その翌日には小笠原で震度5強、箱根の異変、記憶に新しい御嶽山の噴火、5月に台風が接近したり真夏日が数日と、なにかの前兆では？と思うのは私だけでしょうか。

本館が壊され、更地になっています。この本館建設前、当時生徒会に携わっていた地鎮祭で玉串奉奠をいたしました。神頼みのみで耐震建築ではなかったようです。一宮さんのおかげで50年近く何事もなく役目を終えるのだなあと思いつつ、表紙裏の写真のシャッターを押しました。

その一宮神社本殿も耐震問題で、120年ぶりの建て替えが決まっております。(5月31日ひろ)

- 委員長 近藤 博司(昭44普)  
 委員 世良 賢克(昭26普) 藤澤 真美(昭63普)  
 武田 信之(昭28普) 越智 孝司(平2普)  
 近藤 司(昭42普) 片岡 大介(平9普)  
 畑田 雅敏(昭44普) 日野 愛子(平12普)  
 伏見 紀子(昭44普) 吉村 新平(平15普)  
 石川美千子(昭47普) 鈴木 雅大(平16普)  
 安藤 寛和(昭58普)

### 発行所

樟樹会

〒792-0024

新居浜市宮西町4-46

TEL 0897-3214331

FAX 0897-3214331

### 発行者

畑田 雅敏

### 編集者

近藤 博司

### 印刷所

株式会社サラト

### 発行日

平成27年7月15日

表紙撮影：大久保直幸氏(昭和44年卒)大久保フォトス

